

日本地球電気磁気学会会報(第107号)

1985年5月13日

日本地球電気磁気学会

〒113 東京都文京区弥生2-4-16

学会センタービル

(財)日本学会事務センター内

電話 03-817-5801

I 第77回総会ならびに講演会

第77回総会ならびに講演会は、4月2日から4日までの3日間、東京大学地震研究所・海洋研究所のお世話で、本郷にある東京大学経済学部で開催された。3日午後には、河野会員を座長として電気総合研究所の松本元氏による特別講演『バイオコンピュータ』が行われた後、下記の次第で総会が開かれた(会員総数531名、うち在外49名、定足数161名、出席者数80名、委任状100通で成立)。

- (1) 議長 荒木運営委員
- (2) 大会委員長あいさつ 行武 毅大会委員長
- (3) 運営委員会報告 浜野(庶務), 河野(JGG関係), 両運営委員
- (4) 会長あいさつ 小嶋会長

(5) 議事

(i) 決算報告および予算案

丸橋運営委員より提案され、原案通り昭和59年度決算報告を承認、昭和60年度予算案を可決した。→Ⅱ項をごらん下さい。

(ii) 次期総会・講演会開催地

前回総会で決った通り、第78回総会・講演会は京都大学工学部のお世話で10月中旬、京都市内で開催されることを確認。→Ⅲ項をごらん下さい。

(iii) 次々期総会・講演会開催地

広岡運営委員より第79回総会・講演会のお世話を、東京工業大学にお願いしたい旨の提案があり、これを受けて、同大学河野会員より引受ける旨の発言があり、可決された。

(iv) 地球電気磁気研究連絡委員会委員候補の選出方法

飯島運営委員より、日本学術会議に設置された地球電気磁気学研究連絡委員会委員候補(9名)を選出する件について説明があった。運営委員会(4月1日)および評議員会(4月2日)で検討

された委員候補選出方法(案)が提案され、討論の結果、一部を修正して本学会の内規に加えることが可決された。 → IV項をごらん下さい。

(6) 謝辞

西田評議員

II 決算報告および予算案

昭和59年度決算

収入の部

科 目	59年予算額	決 算 額
会 費	4,425,300	4,669,881
正 会 員	3,496,000	3,930,000
学 生 会 員	332,500	200,000
海 外 会 員	296,800	239,881
賛 助 会 員	300,000	300,000
出 版 助 成 金	8,434,000	5,850,000
予 稿 集 売 上 代	1,000,000	944,100
利 子 収 入	200,000	150,359
小 計	14,059,300	11,614,340
前 期 繰 越 金	831,466	831,466
合 計	14,890,766	12,445,806

支出の部

科 目	59年予算額	決 算 額
管 理 費	2,130,000	2,319,640
業 務 委 託 費	1,750,000	1,843,810
通 信 費	160,000	167,760
印 刷 費	50,000	96,990
会 合 費	40,000	41,620
旅 費	120,000	151,100
雑 費	10,000	18,360
事 業 費	11,304,000	8,616,620
会 誌 分 担 金	8,614,000	6,030,000
発 送 費	500,000	550,970
会 報 印 刷 費	150,000	101,700
発 送 費	240,000	75,350
大 会 開 催 費	800,000	894,600
予 稿 集 印 刷 代	1,000,000	964,000
予 備 費	100,000	0
基 金 繰 入 金	300,000	300,000
小 計	13,834,000	11,236,260
次 期 繰 越 金	1,056,766	1,209,546
合 計	14,890,766	12,445,806

〔特別会計〕

田中館賞

収入の部

科 目	決 算 額	備 考
利 子 収 入	2 3,9 9 0	
次 期 繰 越 金	5 5 8,9 7 5	
合 計	5 8 2,9 6 5	

支出の部

科 目	決 算 額	備 考
賞 碑 代	2 7,6 0 0	
次 期 繰 越 金	5 5 5,3 6 5	
合 計	5 8 2,9 6 5	

長谷川基金

収入の部		支出の部	
科目	決算額	科目	決算額
利子収入	33,543	賞杯代	0
前期繰越金	826,487	次期繰越金	860,030
合計	860,030	合計	860,030

学会基金

科目	決算額
一般会計より繰入	300,000
繰越金	3,950,000
合計	4,250,000

注 利子は一般会計へ繰入

昭和60年度予算

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
会費	4,706,800	管理費	2,220,000
正会員	3,810,000	業務委託費	1,800,000
学生会員	200,000	通信費	160,000
海外会員	296,800	印刷費	50,000
賛助会員	400,000	会合費	40,000
出版助成金	8,600,000	旅費	150,000
予稿集売上代	1,000,000	雑費	20,000
利子収入	200,000	事業費	11,430,000
小計	14,506,800	会誌分担金	8,780,000
前期繰越金	1,209,546	発送費	550,000
合計	15,716,346	会報印刷費	150,000
		発送費	150,000
		大会開催費	800,000
		予稿集印刷代	1,000,000
		予備費	100,000
		基金繰入金	400,000
		小計	14,150,000
		次期繰越金	1,566,346
		合計	15,716,346

Ⅲ 第78回総会・講演会のお知らせ

1. 期間 10月15日(火)～17日(木)
2. 会場 京都教育文化センター (京都市内, 東山通り, 熊野神社バス停より徒歩3分)

この時期は京都市内の宿泊施設が大変混みます。各自、早目に予約して下さい。

Ⅳ 地球電磁気学研究連絡委員会委員候補者選出に関する内規（第7条）

1. 地球電磁気学研究連絡委員会委員候補者（以下、研連委員候補と略す）は、日本地球電気磁気学会正会員の投票により正会員の中から選出する。但し、研連委員候補9名の内、1名は日本地球電気磁気学会会長をもってあてる。

2. 投票は8名連記無記名とし、得票数の多いものから必要数を研連委員候補とする。

（参考） 研究連絡委員会とは、日本学術会議が、法第15条第1項の規定に基づいて、次の職務を行うために設置した委員会である。

- (1) 関係する学術研究領域又は重要課題についての学術の現状及び長期的動向の把握並びに将来計画の立案や研究条件の整備の検討。
- (2) 相互に関係する学術研究領域又は課題について、国内における研究機関若しくは学術研究団体の連絡調整。
- (3) 学術研究領域別の国際学術団体の国内委員会又はこれに準ずる機関としての業務。
- (4) 複合又は学際分野の研究の促進のための研究連絡の調整。
- (5) 日本学術会議が審議する事項で、当該分野に関係するものの立案又は審議。
- (6) その他関係する学術研究領域又は重要課題についての研究連絡と能率の向上のために必要な業務。

なお、理学関係の研連委は次の通りである。

数学・物理学・天文学・動物科学・植物科学・人類学民族学・地質学・鉱物学・地質科学総合・古生物学・第四紀・地球化学宇宙化学・地理学・地図学・地球物理学・測地学・地震学・火山学・地球電磁気学・気象学・陸水・海洋物理学・科学教育・統計学・科学史・科学基礎論・結晶学・生物物理学・宇宙空間・南極・電波科学

Ⅴ 日本学術会議会員候補者・会員推薦人の投票結果

昭和60年2月に行われた選挙の結果は次の通りです。

会員候補者		会員推薦人	
大林 辰蔵	49票	大林 辰蔵	45票
福島 直	25	福島 直	42
力武 常次	24	力武 常次	24
小口 高	18	上山 弘	21
加藤 進	10		
小嶋 稔	8		

（総票数 135, 白票1） （総票数 135, 白票2, 無効票1）

この結果、次の方々に決まりました。

会員候補者 { 大林 辰蔵
 福島 直
会員推薦人 力武 常次

Ⅵ JGG論文投稿のお誘いとアンケートについてのお願い

講演会開期中、座長さんを通じて JGG へ投稿のお誘いをするとともに、簡単な質問にお答えいただくようお願いしました。まだ御回答をお寄せになっていない方は、なにとぞ早目にお届け下さるようお願いいたします。また座長さんもこのアンケート回収に御協力下さい。

御回答は、依頼された座長さん、またはお近くの JGG 編集委員に手渡していただいても、また下記宛で郵送下さっても結構です。なお、アンケートを再録しますので、用紙がお手許にない方はこれをお使い下さい。(JGG 編集委員会、委員長 力武常次、委員一同)

_____。_____。_____。_____。_____。_____。

JGG 論文投稿へのアンケート

論文発表を予定されている方は、次の質問にお答え下さい。

1. 投稿予定の雑誌は？

イ. JGG () 篇
ロ. 他誌 () 篇

2. お支障なければ、JGG に投稿御予定の論文題目(内容がわかる程度の略記で結構です)と脱稿時期をお知らせ下さい。

論文題目 (1) _____ 脱稿 _____ 年 月

(2) _____ 脱稿 _____ 年 月

(3) _____ 脱稿 _____ 年 月

3. 著者名 _____ (お支障なければご記入下さい)

宛 先

〒150 東京都渋谷区桜丘町4-17

渋谷台ハイム 307

テラ学術図書出版内

JGG編集委員会 御中